

日中友好の架け橋

第7回日中環境保全友好植林実践会報告



友好植林

美しい地球環境
を守ります。
子孫に自然を
贈りましょう。



特定非営利活動法人
日中環境保全友好植林実践会
平成17年8月10日発行
〒113-0034
東京都文京区湯島3-1-3
TEL03-3836-9408
FAX03-3836-5215

第七回植林レポート

「今こそ日中友好を」



訪中団団長 水野産業(株)
赤堀 晃治

中環環境保全友好植林実践会の植林実践事業を、四月十六日(土)に中国東北部の牡丹江から南へ約二百三十キロ下った東京城郊外の鏡泊湖の畔で昨年に続き行いました。

今回は反日デモなどの懸念がある中、三十二社三十九名と多数のご参加をいただき、友好植林実践事業が無事滞りなく行われたことは、訪中団団長としてご参加の皆様方のご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

この事業は、平成十一年の第一回から始まり今年で七回目を迎えた訳ですが、今年までに延六十五万本の植林実践事業に参加と支援をしてまいりました。

現在問題になっている二酸化炭素の削減には森林の回復が効果的である事は周知の通りです。当会は環境問題を議論するよりもまず実践することが大事だと考えて、植林ボランティアに参加いただいています。

今回の地元林業局の皆様や中学生約二百名との植林作業は反日デモの最中でしたが特に違和感もなく友好的な雰囲気、和気あいあいのなか行われました。

植林後の会食では林業局の孟局長と色々な話をしましたが、反日デモのことも良くご存知で、政治的なことよりも「一般国民の友好が大事だ」との意見で一致しました。そして一緒に植林をした中学生がやがて大学生や社会人になった時、必ず今日の出来事を覚えていてくれると思います。

特に今回は株式会社湧別商事の小島社長のご好意により、北海道の落葉樹「七かまど」と「柳」「櫻」の三種類の苗木を記念碑の周囲に記念植樹として植えることが出来ました。やがて大きく生長して秋には鮮やかな紅葉と「七かまど」には赤い実を付けることでしょう。

帰途の上海では、時速四百三十キロのリニアモーターカーに試乗しましたが、未開発の奥地と発展を遂げている上海との、両極面の中国を見る事が出来ました。十年後には皆様と一緒に植えた樹木の生長した姿をぜひ見に行きたいと思っています。



- 参加された方々(敬称略)
- | | |
|--------------|--------|
| 水野産業(株) 団長 | 赤堀 晃治 |
| (株)京樟 | 新妻 正夫 |
| (有)佐藤商店(副団長) | 飯塚 浩一 |
| (株)東京クイン | 井出 芳則 |
| イデシキョウ(株) | 江間 順次郎 |
| デンカポリマー(株) | 遠藤 克利 |
| 日立化成(株) | 大須賀 公一 |
| アオト印刷(株) | 柳田 寛 |
| (株)湧別商事 | 小島 博 |
| 補助工業(株) | 大滝 寛 |
| (株)まるき | 木村 淳 |
| (株)和気 | 鎌倉 淳 |
| (株)三善 | 木下 淳 |
| 三和紙工(株) | 塩満 真信 |
| 北越パッケージ(株) | 菅沼 栄一 |
| 中国パール販売(株) | 竹本 浩久 |
| 陽明印刷(株) | 新妻 康宏 |
| 富士製袋(株) | 長谷川 正樹 |
| リスパック(株) | 波田 勉 |
| 溝端紙工印刷(株) | 船橋 由紀雄 |
| 東洋流通倉庫(株) | 堀野 弘 |
| 東京アルミ商事(株) | 星野 治 |
| 大阪シーリング印刷(株) | 丸茂 岳浩 |
| (株)みやこひも | 池田 淳史 |
| (株)日東ストローク商会 | 矢崎 茂雄 |
| 睦化学工業(株) | 米田 忠雄 |
| (株)ブリーズ | 渡辺 和彦 |
| 三和家庭用品(有) | 阿部 憲二 |
| 東急観光(株)(添乗員) | 王 烈 |
| 東急観光(株)(添乗員) | 永田 智之 |
| 水野産業(株) | 山形 智之 |
| 水野産業(株) 事務局員 | 中田 武 |
| | 洋 武 |

参加された皆さまからすばらしいお便りが届きました！



植林式典に参加して

(株)京樽 阿井 正夫

昨年引き続き、参加させて頂きました。今回は中国各地で反日デモが行なわれており、現地の日本人への危害が懸念されるという状況下での植林式典の実施であり、大変な緊張感を伴った中国への渡航となりました。

そのような関係から、実際の植林式典の当日においても、中国政府の立場を配慮しての影響かどうか分かりませんが、プラスチックによる演奏は中止されており、更には植林式典やその後の懇親会への中国側の出席者が、極めて少数であったことも残念ながら事実でした。

しかしながら一方では、「日中友好植林記念碑」は場所を変えて新たな物が建立されており、恒例の現地中学生達との共

最も大切なことは明るい未来を作るために、我々はこれから何をすべきかである」と現地中学生達との交流を通して、心からそのような感じる瞬間があります。

このような活動が未永く続くように、今後も出来る限りの協力をさせて頂きたいと考えております。



第七回日植林を終えて

副団長 (株)吉野家ディー・アンド・シー 新妻 利雄

私は今回の植林で3回目の参加となり、東京城は調印式も含め4度目の訪問となりました。東京城林業局の孟副局長とも4度目の再開で、何度も杯を交わすたびに、異国に親しい友人ができた思いで、今回が東京城の最後の植林となることに残念でなりません。植林地の第一中学校の生徒さんにも、我々が忘れていた純朴さを思い出させられ、一緒に植林で汗をかき交流を深めてまいりました。昨年初めてお会いした先生から、「2度目だね」と声をかけられ、一緒に記念写真をとったことを覚えていてくれたことに感動し、今年は一緒の写真を送ろうと思っております。今年で東京城の植林も最後となりますが、(株)湧別商事の小島社長のご好意により「七かまど」「柳」「櫻」の苗木を

用意していただき、記念として植林させて頂きました。いつか、眺めの良い湖畔にたつ、赤い実がたくさん実った成木を見てみたいと思っております。

今年、中国国民の一部は日本に対し反日運動を実施しており、私自身も北京空港で財布をすられ、怖い国・危ない国という印象を持っておりましたが、こうして植林を終えてみると、日本も同様で怖い人・危ない人はどこにも居るわけで、それ以上に良い人・良い友に会えた植林実践会でした。次回の植林地は場所が変わるようですが、異国の新しい友を見つけに、ぜひ参加したいと思っております。また、このツアーの期間を楽しく過ごせたのも、参加していただいた皆様のおかげだと感謝しております。



緑豊かな森林を



(株)東京クイン 飯塚 正人

この度第7回植林事業のお誘いを頂き、今回初めて参加させて頂きました。

以前に何度か中国へは訪れたことは有りましたが、主要都市だけで黒竜江省にあるハルビンが初めてで、日々、変貌を遂げている広大な中国へ降り立ち長時間の移動と共に、最大の目的である植林地へ向い現地に近づくにつれ雪景色で一時はどうなる事と心配されましたが、植林をする熱意が通じたのか雪も解け出し、晴天になりセレモニと共に、訪中団のメンバーは地元中学生を迎えられ、子供たちと一緒に「育てよ苗木」と願い植林



という貴重な体験をし、この植えた木が何年か後に青々とした森林になっている事と思います。

飽食暖衣が当たり前になってしまっている昨今、言葉では地球環境を考え限りの資源と再生が叫ばれている中、緑豊かな森林を増やす一助に参加出来た事と共に、日中友好と、いろいろな方々と接する事ができ、感謝の思い出で一杯です。最後に、この事業が未長くますます発展をしていく事を祈念いたしております。





新たな植林

副団長

(有)佐藤商店 佐藤 浩一

植林実践会も今年で第七回目を迎えました。僕は第一回目から続けて参加しておりますので、この植林を通して知り合った仲間達と中国の地でお酒を酌み交わすことがなにより楽しみでもありました。この会は昨年NPO法人になりました。僕は当会の理事を引き受けまして、今回は副団長としての参加となりましたので責任重大です。

昨年、Mr植林こと湧別商事の小島社長より「針葉樹だけの植林では、せっかく植えた木が土をどんどん疲れさせてしまいうし、植えた木も十分に成長できない。広葉樹も一緒に植えてバランスの良い植林をして欲しい。そうすれば秋には必ず一葉二葉の落葉が少しずつ土に返り、豊かな土地になるでしょう。広葉樹と一緒に植林してはいかがでしょうか？」との貴重な意見が出されました。そして今回その話を聞かれた水野理事長の強い要望と小島社長のご尽力により、初めて針葉樹と広葉樹のバランスの良い植林が実現しました。

いよいよ植林当日。東京城へ向かう途中の道は一面の雪景色となっていました。「植林が本当にできるだろうか」と心配しましたが、植林場所には雪も無く、鏡泊湖を眼下に望む今までの中で一番美しいロケーションでした。植林の参加者も過去最多の39名となり地元の中学生200名あまりとの和気あいな日の中合同植林です。僕は主に落葉樹の柳を植えました。植えた木は常緑樹と比べてひとまわり以上大きく、なんだかとてもやさしそうでした。自然林に近づける為にもより有意義な植林にする為にも、今後も落葉樹と一緒に植えて行かねば!の思いを強くしました。

植林のあとは林業局の方々との食事会です。副団長の仕事といえば参加者皆様の団結力向上と林業局員との白酒の干杯で団長をお守りする事ですから宴席での



無邪気な表情

富士パッケージ(株) 江間 順次郎

日中環境保全友好植林実践会に今回初めて参加させていただきました。中国は2年前に上海へ行って以来、2回目でしたが、今回は、初めての東北地方・そして植林ということで、出発前が不安な気持ちでしたが、皆様のおかげで楽しい、有意義な旅になりました。現地の中学生といっしょに植林し、言葉は通じませんが、ふれあうことができてとても楽しかったです。無邪気な表情が印象的でした。植えた苗木が何年後かに大きな木になるのが楽しみです。鍬を片手に汗を流して、現地の方々ともふれあ

い、環境問題に役立つこの事業は本当にすばらしいなあと思いました。また今回7回目というのですが、7回にいたるまではさまざまな苦労があったかと思いますが、ずっと続けられていることがまたすばらしいことだなあと思いました。中国国内で反日デモがあり、日中関係



が難しい時期に行った今回の中国で、自分自身が日中関係を見つめ直すいい機会にもなりました。過去の問題を解決し、

早くお互いが前向きな関係を築き、相互の発展につながればよいと思います。今後も、この日中環境保全友好植林実践会がますます発展され、多くの方がこの植林に参加されることを祈念いたします。私も機会があれば、また参加したいと思っております。ありがとうございました。



今回は出発前に反日デモがあり日中関係があまり良くない最中でしたが、無事植林も成功し、少しでも日中関係と環境保全に貢献できてとてもうれしく思いました。継続することの大切さを再認識し、今後も参加者皆様より多くのご意見を賜り、当会の益々の発展に微力ながら貢献して行きたいと思っております。



環境と感情

イデシギョー(株) 井出 芳則

今回2回目の参加ということで余裕もあり楽しく植林をさせて頂きました。当日は丁度中国の反日デモ最高潮の時期で大変心配をしていたのですが、北京空港内、また現地の哈爾濱、牡丹江ではその雰囲気すらなく安心をした訳でございます。

植林地に向かう途中、積雪もありこれでは現地では雪を除き硬い土を掘り起すのかなと思いつつ、到着地点近くなりますと積雪もなくおまけに天気は晴天という植林地よりとなり、日本の北海道にある「ナナカマド」の木を記念植林し、それから一斉に植林が始まり、赤堀団長のもとで盛大のうち大成功という感じで終了することができました。

本当にご苦労様でした。また中国では旧日本軍の施設を見学し説明を受けたのですが、中国の人達と日本人の歴史観の乖離が大きいなと感じました。

中国では小学校から大学の2年まで日中戦争の歴史を教えているのに対し、日本では余り記憶に残らない程度の教育しかしていません。

感情の問題で大変むずかしいことと思いますが、我々が日中環境保全友好植林を永く続けていくことによって、その感情が少しでも良い方向に向けられ、「環境と感情」両方が改善されてゆけば最高だと思っております。





中国植林紀行

日立化成フイルテック(株) 大須賀 公一

第7回目の植林事業に弊社として初めて参加させて頂きました。私自身、中国大陸は初めての地なので少し緊張しました。事前に聞いてはいましたが、北京からハルビンの飛行機の中、窓からの景色は本当に木が生えていなく見渡す限りの荒野で、何も遮るものがないので、これでは日本に黄砂が飛んできて当然だと思いました。ハルビンは、思っていたよりは寒くなく快適でしたが、やはり独特の匂い(ちよつと酸っぱいような)を感じましたがすぐに慣れました。東京城での植林作業はスムーズに進行了しましたが、前回植林した地を見学した際、実際に根付いている苗木は半分もなくなっている様子で、現地の人の肥料散布等のアフターフォローも今後は必要なのでは、と感じました。この実践会を続けることに

意義があり、大きな意味での今後の日中友好になると思います。「継続は力なり」。



「ロシア聖教 聖ソフィア教会」哈爾濱



環境保全と日中友好の架け橋

デンカポリマー(株) 遠藤 克利

今回、私は日中環境保全友好植林実践会に初めて参加させて頂きました。中国へ行くのは初めての事で出発直前まで反日デモ等の反日感情の悪化が盛んに報道され、不安を抱いていた参加となりました。移動のバスから見る風景が都市部では高層ビルばかりなのに驚き、地方部では広大な大地に比べて緑があまりにも少ないという印象を受け、自分の抱いていた中国のイメージとのギャップと環境保全のための植林事業の必要性を感じました。

植林のセレモニーでは、地元中学生と一緒に鋤を使い、汗を流しました。ほとんどコミュニケーションは取れませんでした。植林に對するひたむきさと笑顔に触れる事が出来、感動致しました。植林の後、前回の植林地を訪れ、一年間の

成育状況を見る事が出来ました。まだまだ小さいですが、大地に力強く根を下ろしており、日々の成長を感じる事が出来ました。今回、植えた苗木もこれからの成長が楽しみにになりました。

今回の植林実践会に参加した事で環境保全と共に日中友好の意義というものを深く考えさせられました。日本では北京上海等の都市部での反日デモが連日、報道されていますが、植林地でのあたたかい歓迎や地元中学生の笑顔を見出すと、一部の心無い活動や報道により日中関係が悪化してしまう事が残念でなりません。今後、この植林活動が大きく発展し、環境保全と日中友好の架け橋となる事を信じております。貴重な体験をありがとうございました。



タイムスリップ

アオト印刷(株) 大滝 寛

今回、日中環境保全友好植林実践会に初めて参加させて頂きました。私は第五回に参加する予定でしたが中止になり、海外自体が初めてで中国について何も知識が無く不安ばかりでの参加となりました。

北京からハルビン、牡丹江へと移動し東京城での植林活動はわずかな時間でしたが地元中学生と一緒に苗木を植えることができました。中国の山々には木が少なく、雑草すらも少ないのは大変驚きで、季節的なこともあったのかもしれないが、日本の山の方が青々としていると思いました。

割箸を中国から輸入販売し、消費者としても使用しておりますが、これほどまで地球温暖化や砂漠化が進んでいるとなると、自然の生態系バランスへも悪影響になっているはずですし、中国だけではなく日本、全世界的にこれから先も一歩

ずつ真剣に取り組んでいかななくてはいけないと感じ、実際にわずかながら貢献できたのではと思っております。

又都心と地方での環境、生活水準の差が激しく地方ではタイムスリップしたかのような町並みで、着衣も家もすべてが想像を超えており驚きでした。一方都心に出てみると建物などは、日本と変わらずそれ以上な感じさえあり、若者のファッションを見て日本人と大差なく着こなしておりました。

今回の植林実践に参加でき、割箸を販売し使用している日本国民として、環境保護にわずかながらでも協力できたことを、うれしく誇りに思うと同時に環境保護の大切さをもっと広めることができたいと思います。

主催者、日中の参加された皆様感謝し、お礼を申し上げます。





継続は力

アオト印刷(株) 榎田 肇

友好植林実践会も、七回を重ね特定非営利活動法人の認証を受けたことについて、大変嬉しく思い又ここまで育てた関係者の方々、過去に植林に参加された皆様の地道な活動が実を結んだ結果であり大変お慶び申し上げます。私自身、日頃割箸を加工し、販売する仕事をしておりますが、この度始めて植林に参加致しました。皆様にはいろいろと迷惑をお掛けしたり助けられたりして、なんとか目的を果たせました事を厚く御礼申し上げます。東京城までの移動のなかで、空からの眺め、車窓からの町並、平原どこを見ても樹木の少ない非常に乾いた冷たい大地との印象を受けました。今までの植林活動の写真等を見て、東京と同程度の気温と勘違いして防寒については無防備で東京城に向かう途中、やがて車窓は見渡す限りの雪原となり休憩所で下車したとき

には、寒くてこの先どうなることかと背筋まで冷えて、大変不安になりましたが幸い現地は晴れ、気温も上がり植林にはちょうどいい気候となり、「さあやるぞ」と気力も充実しました。協力してくれる中学生がバートナー選びをしているので、ニイハオと一声掛けるところ明るく笑顔で5〜6名の女の子に囲まれ植林スタート、彼女達が素手で苗木に土を掻けているので私の軍手を渡すとニコニコと二人で1枚ずつ分け合い一生懸命に作業をしてくれた、20本程度植林し、スコップさばきも慣れてピッチが上がったところで時間切れ、女の子も残念そうだったが作業終了、私の顔にはうっすらとすがすがしい汗が光っていた。生徒達が整列し手を振りながら笑顔で私たちのバスを見送ってくれたことが一番印象に残っており今でも純粋な笑顔が思

い出される。今回は生徒達と筆談したり、お弁当を食べたり等の時間がとれれば、それぞれの思い出に残る充実した活動になると思われる。今回植林した苗木と小嶋さんの提供した、「七かまど」が大地に根を張り、東京城の中学生がやがて成人となり自ら植林をし立派に成長した樹木を見て、あときの爽やかな笑顔を思い出して、いい人生を送ってほしいと思う。一度の植林数には限りがあるが毎年続けることに依り、日中友好の大きな力になることを願ってやみません。



道中の疲れが一瞬で飛んだ

(株)和気 木村 晋一

私は今回植林実践会初参加であり、海外経験も初めてであり、反日デモの真っ只中に開催となり不安いっぱい参加致しました。反面、オリンピック・万博効果もあり益々急成長している中国を体験できるという好奇心もいっぱいでした。以前に比べると今回は時間も移動手段も恵まれていたようですが、行きの飛行機で睡眠不足から飛行機酔いしてしまい、成田空港から植林セレモニー会場の鏡泊湖まで二日間の移動は正直長く辛く感じました。道中は中国の都心部とダウンタウン・農村部と貧富の差の激しさ、また広大な大地に木々が少ないことに驚きました。長い道のりでしたが、待っていたのは現地のスタッフの方々

と子ども達の熱烈な歓迎で、道中の疲れが一瞬で飛んでしまいました。純粋な瞳の子ども達に促され一緒に苗を植えて、この子ども達の為にこの活動が継続され、より発展していくことと、反日デモの中での開催となり、この活動を通じて日中友好の和を広げていかなければと強く感じました。これから仕事をしていく上でも人生経験としても大変貴重な体験ができ、参加させて頂いたことに深く感謝致します。また、何年か後に大きくなった木を見てみたいと思います。ありがとうございました。



彼らが大人になったとき

福助工業(株) 鎌倉 弘宜

第7回中国植林事業に参加させて頂きまして、誠にありがとうございました。植林も始めてですが中国へ行くのも始めての事で、出発前より反日デモ騒動の最中での中国訪問と言う事で、心配しておりましたが無事に終える事が出来ました。事務局を初めご参加の皆様には大変お世話になりました。あわせて御礼申し上げます。

る最先端の上海まで、今の中国の姿の一部かも知れませんが自分なりに感じる事が出来、私自身大変勉強になりました。今回の目的である植林事業を行う東京城への行程は、中国へ入って飛行機・汽車・バスを乗り継ぎながら、ようやく3日目に到着しました。牡丹江からバスで移動途中の車窓一面に広がる積雪を見て、一時はどうなる事かと思いましたが、東京城へ到着すると我々を歓迎しているかの様に青空になりました。整列した地元中学生の横に並び、式典終了後に地元中学生と一緒に、言葉は通じませんが身振り手振りでコミュニケーションを取りながら、植える1本1本の苗木を、彼らが大人になった時には大木となり彼らの役に立つ事

今後とも引き続きこの植林活動が継続される事を祈念いたしております。





混交林の植林を

(株)湧別商事 小島 博

いつもお世話になり誠に有難うございます。

今回の植林では初めてカラマツから緑葉松系に変更され、大変良かったと思います。実はこれは私の願いでもありません。

広葉樹も植林の中に数十本植えていたが有難うございます。

第一回目から広葉樹を植えてくださると要請して第七回目にしてやっと思いがかないました。

又、カラマツから常緑針葉樹になりより良くなりました。

水野理事長はじめ赤堀団長、阿井様、佐藤、新妻副団長に感謝します。

今後、NPO法人となった後も続けていたきたいと考えております。

広葉樹を植えることが本当の意味の植林になることが他の団体や一部の方々にも理解されてきたらと思います。

5月2日のNHKニュースで5.4反日デモを前にして中国政府の突然当然の方向転換で日本人の貢献と題して内モンゴルの砂漠に植えたのは広葉樹でした。その10人の中に隣の70歳くらいの方がボランティアで参加されていました。

砂漠の中に針葉樹を植えて木が根付いたとしても砂漠は砂漠のままです。広葉樹が根付けば落葉が生物を生み長い年月をかけ砂を土に変えます。

私達は条件の良い所に植林をしているのですから、なおさらこれ以上中国の大地が疲れないように、せめて混交林の植林を目指してもらいたいと希望しております。

最後に第7回日中植林実践会に参加された皆様に、大変なご迷惑をおかけいたしました誠に申し訳ございません。皆様には深く感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。

有難うございました。



想像の世界だった旧満州に行けるなんて!

陽明印刷(株) 新妻 康宏

いろいろな国を旅行してきましたが、まさか旧満州の地を訪れることが出来るとは夢にも思っておりませんでした。

それが現実となり、この度、赤堀団長以下総勢三十九名の団員の皆様と一緒させて頂き、感謝の上なく、心からお礼申し上げます。

初参加の私にとっては、見るもの、聞くもの、全てが異国情緒豊かに感じられ、生涯忘れられない思い出となりました。

又、ご同行の皆様には初参加の為、大変ご迷惑をお掛けしたと、この紙面を借りてお詫言申し上げます。

なるべく足手纏いにならないように気を付けたつもりですが、その反面、大してお役に立てず反省しております。

最後になりましたが、今回ご参加頂いた皆様のご健勝を祈念し、来年も元気な姿でお目にか、れることを楽しみにして



当たり前のこと

(株)まるき 木下 淳

昨年引き続き、中国黒龍江省牡丹江市東京城県に赴いた。本年は鏡泊湖を見渡せる一等地に広葉樹を植林した。中国でも有数の避暑地として知られる当地の緑化に、少しでも協力出来たのは全く以って幸甚である。また、本年は湧別商事の小島社長の御尽力に依り、北海道を代表する木であるナナカマドを植林することが出来、日中友好の名に相応しい事業を為し遂げることが出来た。あらためて、小島社長の御尽力に敬意を表したい。

ところで、今回植林のパートナーとなったのは、東京城第一中学三年生の成長盛りの男子二人。予め土を掘り起して頂いていたとはいえ、いつもに増しての手際良さに感服。聞いてみたところ、当中学として本年既に三回目の植林とのこと。

昨年も記したが、「更新造林」に力を注いでいる東京城林業局の姿勢に敬服した。「木があったところに木が無くなった。もう一度木を植えるのは当たり前のことです。」との一語に組んだ中学生談であるが、簡単にして全てを言い表している。そう、当たり前のこと。それを習慣とすること。それが植林だと認識させて貰った。とは言え、ご当地に限らず資金には限界がある。少しでも、一衣帯水の隣国として、お手伝いをさせて頂けたのなら、こんなに嬉しいことは無い。

余談になるが、育成の早い竹でも、中国では早めに伐採をしようとするところが多く、残念ながら一部で山の荒廃を惹き起こしていると言われている。後手になる前に、経済効果の中に組み入れる育成



おります。



遼海国地図



「遼海国上京龍泉府跡地」東京城



事業を呼びかけていかなければならないと、今回の植林を通して再認識した。



大きく成長し森林へ

三和紙工(株) 霜村 栄一

訪中と植林、どちらも初めての経験で戸惑いながらも自身に取っては有意義な日々であったと回想しております。

北京ハルビン、牡丹江、東京、鏡泊湖の行程の中で、北京からハルビンまでの機窓から大地を覗き込むと、低い山には森林と思われるそれは無く、かすかに木々らしいと思われるものしか確認できなかった。

ハルビンから牡丹江までの電窓、牡丹江から東京までの車窓からは決して綺麗とはいえないレンガ造りの小さな家集落とそれとは比べ物にならない広大な耕地、この行程の中でも森と言えるものは殆んどなく、僅かな林として表現が出来ない。

東京城から鏡泊湖の植林地までは、悪路に揺られながらも木々は少しずつ増加が見られたが森林とまでは表現しづらい。また、木の種類は圧倒的に白樺が多かった。

木々が少ない理由として、食料確保の耕地開墾と生活上の暖手段の伐採と思われる、現在の中国が石油の採掘問題に奔走せざるを負えない国内事情の一端が見え隠れする。

今回植林した木々が大きく成長し、林となり森となる事を願いたい。

東京城の町は、決して裕福ではないが生きるために一生懸命で生き生きしていた50年前の日本の東京の一部を思い出させ懐かしかった。



ここから全ての一歩が始まる

(株)三善 塩満 真信

今回、初めて植林事業に参加させて頂きました。

お誘いを頂いた時には、植林も中国へ行く事も初めてでしたので多少の不安が有りましたが、一度は行ってみたいかった中国」でしたので、喜んで参加させて頂きました。

まず驚いたことは、哈爾濱空港から市内へ向かうバスの中から見た建設ラッシュでした。

大きな工場も多数有る中、高層マンションが建設をされている姿を見て、この国の経済発展振りを「中国は元氣だな」と実感致しました。

しかしその感想も、2日目の牡丹江への電車移動中から見た景色で一変してしまいました。

哈爾濱駅を出発して直ぐに都市の景観は無くなり、到着までの4〜5時間で見える風景は、木々も少なくひたすら畑だけの姿でした。

これは元々の姿なのか、伐採の影響なのか、伐採であるのなら誰の為の伐採なのか、ここで初めて今回の植林事業の意義を考えさせられました。

植林地へ向かう途中雪景色となり、いったい現地はどんな状況なのかと心配致しましたが、近づくにつれ雪も無くなり、現地はとても穏やかでホッとしました。

植林は中学生男子2名と共に、身振り手振りでお互いに鋤を使い楽しく植林が出来ました。

後半は余った苗を10名位で一緒に植え、「皆で植林をした」という実感が生まれました。

今回は土に優しくと、広葉樹の「七かまど」「柳」「楓」を植えることができ、単に木々の成長を促すだけではなく、土地にも配慮した植林ができて素晴らしいと思えました。

今回私が植えた苗木は数十本と非常に少ないのですが、ここから全ての一歩が

皆様方から種々お話しを聞かせて頂き楽しく過ごせた事に感謝いたします。



始まるんだという思いが致しました。

植林をした苗木、現地中学生約200名と一緒に植林をした体験、これらが20年後・30年後には木々の成長と共に日中の友好関係も更に深まる事を期待致します。



植林の大切さを実感

京葉流通倉庫(株) 星野 弘

4月14日(木)参加者は成田空港に定刻のAM8時30分に全員揃い成田空港→北京空港→哈爾濱空港と移動し、18:35分到着後バス2台にてホテルへ向かい19:00よりホテル宴会場にて団長赤堀団長をはじめ、他の参加者全員による結団式が盛大に執り行われました。

4月15日(金)午前中は哈爾濱市内観光となりました。日本第731部隊の跡地の資料館では日本731部隊の行なったチフス菌・コレラ菌・ペスト菌などの人体実験などで、多数の尊い生命が失われたとのことで戦争の恐ろしさを再認識させられました。

午後は哈爾濱駅より14:00発の快速列車にて牡丹江へ向かいました。車窓から見ると両側の景色は畑・小山には木が無く緑もなく、所々に集落の風景が延々と約4時間も続き、日本では想像もつかないような大地の広さが体験できたことは、私にとって貴重な1日となりました。

4月16日(土)今回の目的の植林地となり、北山ホテルからAM8:30分に出発し植林地の鏡泊湖へ専用車2台にて向かう専用車の中は暖かく、外の気温はかなり低いと感じられた。途中での景色が雪化粧となり、植林地の状態が気になりましたが近づくにつれ雪化粧も無くなり、目的の植林地に到着しました。中国林業局局長並びに関係者数名や、牡丹江中学生約150名と先生の盛大な歓迎を受け目頭が熱くなるのが感じられました。中国林業局局長の挨拶、赤堀団長の挨拶と続きセレモニーが終わり(今年は緑葉松7万5千本の植林を計画)植林の一部、緑葉松千本の他(株)湧別商事小島社長が用意された「七かまど」「柳」「楓」など40数本を地元の学生2名と一緒に植林することとなり、言葉は通じませんが和気藹々のうちに数十本の植林も無事に終わりました。

林業局から招待の昼食会場は鏡泊湖の高台にあり、景色も最高でしたし、昼食会も笑顔と会話の楽しいひと時となりました。帰路の途中で昨年の植林地に立ち寄り、植林の生長振りを見ましたが草木が混在し、よく見ないと分からない状況の中で感じたことは、木の生長に数年の歳月が必要となること、この植林実践会の行なっている植林の大切さが今更ながら実感された事は、貴重な体験となりました。

4月17日(日)午前中は牡丹江市内観光となり、最初の見学場所は牡丹江最大のデパートとガイドより案内がありましたので、日本のデパートを想像しました。規模が小さく店内で今回参加した人と出会う状況でした。

牡丹江から哈爾濱に列車で移動し、18:00頃に到着。19:00より行われたホテルでの解団式では、中田事務局長からNPOとして昨年8月に東京都より認証された報告がありました。

その後全員が一人ずつ感想を述べ終始和やかな解団式となりました。

4月18日(月)は哈爾濱空港→北京空港→成田空港と移動しましたが、何事もなく19:00時に到着し、「B班」の日程はすべて終了となりました。最後に事務局並びに関係者・参加された皆さんには大変お世話になりました。





植林事業への思い

富士製袋(株) 長谷川 正樹

今回、日中環境保全友好植林に初めて参加させて頂きました。

中国へ行くことも初めての事で、反日デモなど対日感情が悪化している中で友好植林に参加出来、貴重な体験となりました。

植林地への道のりで見える緑の無い景色、中国経済発展の恩恵による地方都市、中心部を外れる貧しい風景、現在の中国が抱える問題を肌で実感し、植林についての大切さを改めて痛感いたしました。

植林実践会では、現地の中学生達と共に緑あふれる大地となるよう、私自身も

子供の頃のような純粋な気持ちで、一本植える事が出来ました。

そして、今回私たちが植えた木が数年後には、現地の中学生と共に立派に成長することを期待し、またこれが小さな一歩として前進し、継続され歴史となるように願っております。

最後に、事務局を始め参加の方々には大変お世話になりました。

そして、この事業を通じて日中の関係が友好化する事を期待いたします。



中学生との共同作業

溝端紙工印刷(株) 船橋 由紀雄

第7回日中環境保全友好植林実践会及び記念式典に参加させて頂き、有難うございました。初めての中国ですが一度は行きたい国であり一番関心のある国でした。

北京よりハルビンに入ったのですが上空から見ると緑というか、森林が目に入りました。季節柄とは思いますがすべてが黄土色に見えました。

参加に当たり経験者の方から体験談を色々聞かせていただき、水・食・移動等々不安がかなりありましたが、思ったより食事もでき移動の方も心配なく快適でした。道路・鉄道等々インフラがかなり進んでいるのでしょうか、中国の急成長が垣間見られた印象でした。

結団式において、この事業の崇高な理念と団長はじめ先輩方の第一回からの歴史を拝聴し、この植林事業は今後も是非にも継続していただきたいと強く感じました。

植林当日は東京城付近では積雪があり、除雪からの植林かと覚悟しておりました。

が鏡泊湖では快晴で絶好の植林日和でした。植林は地元中学生との共同作業でしたが、彼らの一生懸命の姿に心打られました。言葉が通じず若干苦労しましたが何とか手振り身振りで解り合えるようになり、何とか終了できました。短時間ではありましたが久しぶりにかいた爽快な汗でした。

帰り際に昨年の植林の苗木を見させていただきましたが、5センチ程度成長しているとのこと。思ったことは植林等素人ですと判りませんが、あまり手入れがされていないような印象を受けました。5年、10年先にもし機会があれば是非訪れて成長を確認できればと思います。

結団式の挨拶の中で、なぜ広葉樹植林が地球環境にとって大事なのかはとも興味深かったです。(土を甕らせ、尚且つ水を浄化させること)

反日暴動騒ぎの中で今回の開催でしたが、ハルビンの731部隊の見学には考えさせられました。今少し日中間の問題を考える機会を与



えていただいたことに感謝します。

この日中環境保全植林事業の理念は時間がかかるかも知れませんが少しでも中国側に理解され、日中友好に寄与される



とても清々しい気持ち

大阪シーリング印刷(株) 丸茂 岳浩

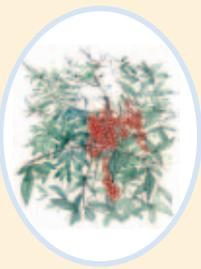
この度は、「中国植林ツアー」に参加させて頂きまして誠にありがとうございます。事前に中国国内で反日デモが行なわれている報道が連日テレビ・新聞を賑わわせており、日中友好を掲げてはおりますが、本当にこの時期に中国に行つて大丈夫なのかと大変不安の中、参加させて頂きました。

実際に中国に行つてみますと、全く反日という雰囲気はどこに行つてもなく、逆に友好的に接して頂けたと思えました。これもひとえに水野産業株式会社様並びに東急観光株式会社様のお力によるものと確信しております。

今回は中国黒龍江省の牡丹江等という普段自ら中国に旅行する場合でもなかなか行けない場所で、現地の学生と触れ合い、木を植えるという本当に貴重な体験をする機会を与えて頂き、本当にありがとうございます。また、東京城から上海までという中国の農村地域から大都市まで体験する事が出来ました事、哈爾濱での侵華日軍第731部隊遺址を見学する事により、過去日本がどんな酷い事を中国に対して行なってきたのか、中国が反日デモを何故するのか等、日本国内にいたのでは感覚的にしか分からなかった本場の中国の姿のほんの一部かもしれませんが体験出来ました事、自分自身本当に貴重な財産になりました。

日本の子供達は、様々な情報が飛び交い、物が溢れ、ゲームに興じ、現実と虚実の罅も分らず凄惨な事件を起こすような異常な状態になりつつありますが、今回東京城で会った子供達は非常に人懐こく、目が澄んでおり、こちらがとても清々しい気持ちにさせてもらい、本来あるべき子供の姿を見れたと思います。日本もこのような部分でも中国に学ぶべき事がある事を実感致しました。ただ、非常に残念だった事は、時間を掛けて植林に行つたのに、植林にかける

時間が非常に短かった事、子供達もつと触れ合う時間が欲しかった事です。最後に、地球環境保護、及び世界平和に本当に微力ながら貢献出来たのではないかと自分自身思っております。普段どうしたらそのような事が出来るか分からなかったのですが、その機会を与えて頂きました事に大変感謝致しております。今後もぜひこのような意義ある事業を続けていって下さる事を祈念致しております。本当にありがとうございました。





二回目の植林

(株)日東ストローク商会 米田 忠雄

一昨年はサース、そして今年は抗日デモ、何かとお騒がせな国だと思います。事務局では毎日の様にテレビ・新聞などで報道されるデモの様子に賛否両論の中で前日まで苦慮されていたようですが、「第七回中国ツアー」も成功し、全員無事帰国することができました。私も二回目の参加でしたが、少しでも日中友好に役立てたかと思うと、植林ツアーに参加させて頂いたことに感謝しております。

今回は昨年のようなプラスチックバンドでの盛大な出迎えはなく(反日の影響?)少し淋しい思いました。中学生達は笑顔で出迎えてくれて気分が一新致しました。両国の友好的な挨拶も終わり、いよいよ本番の植林。今年の中国はとて寒く、途中雪化粧していた所もあり、昨年暑かった経験から薄着をしてきた私は失敗したと思っておりました。ところがこの時は我々を歓迎してくれたのか天候も一変し、好天に恵まれる中植林が始まり、昨年より相当多く植林をして一汗流して終了した時は感無量でした。

短時間の生徒さん達との共同作業でしたが、生徒さん達は両親や友人に今回の植林についてなど色々話題にしてくれることでしょう。このことは著業にとどまらず、日中友好につながると確信しております。それと思うと他業界の方々も多数参加されることで植林事業が益々発展することを念願致します。また、昨年植林した場所を訪問し5〜6センチ生長した木に触れることができ、とても安心しました。

第8回は植林場所が変わるとのこと。今回は顔馴染の方が多く次回新天地での再会を楽しみにしております。



植林を通じた交流を

スミ(株) 渡辺 和彦

今回、初めて植林事業に参加させていただきました。私たちが日頃から割り箸など、木を原料とした製品を数多く使用しているという事は、それだけ木(森林)を伐採しその土地の環境等を大きく変えてしまっております。今回、地元関係者や地元中学生と共に苗木を1本1本協力し合い、植林が出来たことを大変嬉しく思っております。

また、子供達とも植林を通じていろいろな話が出来れば尚素晴らしい交流ができたのではないのでしょうか。私達が植えた木が10年20年後大きな木となり林となり、そして大いなる森林が出来る事を心より願っております。

新聞紙上などで、中国の目まぐるしい発展が報道されているのは私自身認識しておりますが、実際目と耳で中国(上海、北京、ハルビン、牡丹江)を体験す



我々日本人が忘れていくこと

睦化学工業(株) 和田 成博

- さて、今回初めての日中友好植林に参加させて頂きましたが、当社は昨年・一昨年とSARZや鳥インフルエンザ問題で参加をお断りしてきました。今年も話を頂いた時には特に問題はありませんが、行く直前となって反日問題が起きて正直、迷いがありました。インターネットや旅行会社に確認して、今の所はまだ問題はないとの事で、最終的には参加する事を確実にした次第です。(誠にお恥ずかしい事ですが……)
- 今回の主目的である植林活動を実際に、現地中国の植林関係者及び中学生達と共同させて頂きました。赤堀団長からは「この活動においては実際に自らが体験をしなければ、環
- 境保全・日中友好が分からないだろう」とお言葉を頂いていました。短い時間ではありましたが、地元中学生と「くわ」を持って植林活動をした。初めての言葉の意味が分かりました。1部隊遣社」は日本が中国人及び捕虜に対して残酷な行爲をした事が分かり、やはり戦争がいかに愚かな事が身に染みて分かりました。
- 又、今回の植林活動などを通して私には「地元の方と少しでも触れたい」と言う思いが強くなり少し勝手な行動を取りましたが、見るからに貧しそうなお民家の前に80歳位のおばあさんが我を見ていました。言葉が分からないのでジェスチャーで「家の中を見せて下さい」と表現したらOKして頂き



ました。家の中に入る前に、井戸水を汲み上げコップに水を入れて「どうぞ飲んで下さい……」と私に水を差し与えて下さいましたが、さすがに体を壊すのでお断りしましたが、「非常に優しい心を持ち主だろう」と感動を覚えました。家の中は6畳の汚い台所と6畳の居間兼寝室でした。「こんな生活があってもいいのであろうか?」と思う反面、「我々に何かお手伝いが出来ないであろうか?」と言う思いが強くなりました。

5. 今回の植林活動を通して環境保全・日中友好だけでなく、我々日本人が何か忘れていた事がここ中国で少し掴めたと思います。数年後に又植林した場所にプライベートでも行きたいと思えます。又、他の社員や関係会社、知人などにも是非体験して頂きたいと思えました。

本当にこの度は参加してよかったです。次回はおもう少し現地の方との接触を増やして頂ければと思います。



二一八オ ハイチョブチェーン

(株)ブリーズ 大村 憲二郎

第7回を数える日中友好の植林会、私自身、今回で3回目となりますが毎回、毎回、いろいろな人たちとの出会い、再会、そしてアクシデントと植林地までの道程は日本では想像出来ない程楽な事ではない筈なのですが、なぜか楽しい思い出がたくさん残ります。

今年は、以前より増して中国国内の反日感情が高まる中、東京城の林業局の方、中学生の子供たちがとても暖かく迎えて頂き無事に植林活動が出来たことは、毎年、続けてきた植林活動の友好の輪の賜物と改めて実践会の重要性を強く感じました。

植林地に到着して最初に驚いたのは、小高い山、そして湖が見渡せる植林する



一生忘れられない貴重な体験

水野産業(株) 越智 祐司

今回、第7回日中環境保全友好植林実践会の一員として参加させて頂く事となりました。初めて訪問する中国への不安：ましてや毎週毎週報道される中国各地の日本へのパッシング、デモ。正直、不安な気持ちでいっぱいでした。反日の問題以外にも移動の時間、日本人には合わない食事、飲めない水道水、トイレの問題：と多々不安を抱えながらの出発でした。しかし、ほとんどのメンバーの方は顔なじみの方ばかりだった為、実際には和やかな雰囲気の中、過ごす事ができました。

植林当日、バスの移動にて現地へ出発。何時間か走った後、舗装された道路から舗装されていない道へ。雪が残る道をとんどん奥へと進み、ようやく現地に到着。現地の子供達約200名が我々を出迎え、日本人一人につき3〜4人の子供達が手伝いにつき、和気藹々と植林活動に汗を流しました。植林という貴重な体験を通じ、環境問題、日中友好に少しでも貢献

にはとても好条件の場所だった事。記念碑もまた作られていて植林した苗木の20年後の成長がとても楽しみに感じられました。

去年はニコニコだけしていた中学生も私が「二一八オ ハイチョブチェーン」と答えると満面の微笑でこんにちは、いらっしゃいませと日本語で積極的に挨拶をしてくれたことがとてもうれしく思いました。

2時間弱の植林セレモニーが終わり、お礼を言ってお別れしたのですが、次回は中学生の方々と一緒に懇親会をして交流を深め、日中友好の輪を広げていきたいと思えました。本当にありがとうございました。



もより良い会となるように省みたいと思っております。

できたかと自負しております。心配されていたデモなどにも巻き込まれずこの植林実践会を無事に終えられた事にホッと胸を撫で下ろしております。時間調整などの反省点も多々ありますがその点を一つずつ改良し、来年からの会

最後になりましたが、ご参加頂きました皆様、大変おつかれ様でした。ご参加してご都合によりご参加出来ずにご支援頂きました関係会社の皆様に感謝致します。今後ともこの日中環境保全友好植林実践会のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



次世代へ継承したい

(株)ブリーズ 阿部 祐士

NPO法人日中環境保全友好植林実践会の活動内容は私も存じておりましたが、ようやく会社よりチャンスを感じ初めて参加させて頂きました。割箸の販売を通し、多少は木に対する知識は持っていたものの、中国国内における森林破壊の加

速度は増してあり、私にとっても考え深いものがありました。日本における木材は、ご存知の通り自給率は乏しく輸入に頼らざるをえない状況です。その中でもやはり中国への依存率が高く、日本が中国国内の森林破壊をしていると言っても過言ではないでしょう。そんな状況の中、ほんの一部ですがこうした活動をする事ができ意義ある体験が出来たと思えます。また、植林時期には中国国内にて反日運動が高まっている最中、色々な不安もありましたが、現地ではやさしく受け入れて頂き、一緒に植林をした現地の子供達の顔を見ていると心が洗われる心境でした。本当に日常生活では味わえない



体験をさせて頂きありがとうございました。是非これからも植林活動を続けて戴き、次世代へ継承したいものです。



初めての植林、初めての感動

水野産業(株) 黄 洋

水野産業に入ったきっかけは、面接の時に会社側から植林活動の説明を受け、それにひかれ、ぜひ参加してみたいと思ったのがまだ記憶に新しい。この度、初めての参加で貴重な体験をたくさんさせて頂いたが、心から感謝しています。

私は中国国籍でありながら、日本の水野産業という会社の社員でもあります。とても日中両国に仲良くなっていたが、その間ですらいろいろ掛け橋的な役割を果たしたいと思っています。われわれは政治活動には関与しませんが、今度の植林は定期的にちよと中国の反日デモ等に重なり、正直なところ最初からとても心配でした。せっかく日本の皆様に中国でボランティア活動をやっていただいで、まっ

たく無関係な政治的活動の為に嫌な思いをさせたら失礼だと思えました。幸いに一切そういう心配は無く、現地の皆さんに理解していただき、たくさん交流ができて本当によかったと思えます。

実は私にとって、中国の田舎に入ったのも初めてでした。今までほとんど都市部で生活をし、短期間で長い距離の移動等貴重な体験をさせて頂きました。中国はまだ都市部と農村は経済的に格差が大きく、北京や上海等と比べ同じ国なのかと私でさえも驚きました。でも、田舎の皆様は都市部ではほとんど見えない純真さや、そして何より印象に残っているところは、やはり植林地の皆様との交流でした。国籍は違いますが、共に同



じ地球で暮らし、環境保全及び日中友好のために一緒に頑張ろうという気持ち皆一つです。植林をする時に、日本の皆さんが一生懸命に私から勉強した簡単な中国語で現地の中学生と話しするところや、溢れる笑顔を見て、その感動を一生忘れられないと思います。

皆さんがご存知のように、最近、日中両国は政府間でいろいろありまして、大変な時期でもありますが。しかし、今度の植林活動を通じ、両国国民の間で心と心の交流ができ、やはり仲良くなっていただくには、もっとお互いに話し合いながら理解し合わなければならぬと強く感じました。われわれは政治に関与しませんが、今の政府間の採みあいを見て素晴らしい両国の国民に大変もったいないと思います。ぜひわれわれ民間の活動を通じて、もっと多くの人に理解していただき、両国の友好のためにこれからもたくさん貢献したいと思えます。

大変有意義な植林活動に参加させていただき、心から皆様に感謝しています。これからもぜひ新しい目標を持って活動を続けて、毎年新しい収穫ができ、より多くの方々にご参加していただけたらいいなと思います。2005年の植林活動、本当にお疲れ様でした。次のご参加も心よりお待ちしております。

今年の植林ツアーは中国国内で反日活動が統発するなかの実施でしたが、参加者の皆さんの熱意で実施できたことを嬉しく思います。皆さんの「日中友好の架け橋」「地球環境保全」という崇高な目的があったからこそ実施できたと思います。今年の実施も昨年と同じ東京都での実施でした。今年の植林地は鏡泊湖を望む高台への植林ですので、非常に景色がよく植林と言う活動を象徴する記念の地としてはすばらしい地だったと思います。鏡泊湖の美しい景色とともに植林活動の意義と環境保護の願いが根付いて欲しいと感じました。

今年の植林地も見学をさせていただいて、わずかながら昨年植えた苗木が育っているのを見て大変嬉しく思いました。昨年植えた周りに現地の方に植えていただいた苗木がたくさんあり、私たちの活動が現地の方へ伝わっていることを感じ大変嬉しくなりました。来年からは東京城では直接活動はできませんが、今後も地元の方が意志を引き継いで行っていただと嬉しいなと思いました。

観光で訪れた「侵華日軍731部隊遺址」では日中間の歴史知識の違い、国民性の違いを痛感しました。日中友好を目指すこの会にとってもよい訪問地であったと思います。来年以降も歴史知識、意識を再認識して、現地の方と交流していければと思います。

今回の植林ツアーでも参加者皆さんの意志と協力があつて大きなトラブルもなくツアーを終えられたことを参加された皆様・受け入れていただいた現地の方々に深く感謝いたします。来年からまた活動地が変わりますが、ますますこの会が発展し、多くの方が来年また一緒に中国を訪れることができると思っています。また多くの現地の方々にも活動をご理解いただき、より多くの木が中国の大地に新しく根付くことを願っております。

今年の植林ツアーは中国国内で反日活動が統発するなかの実施でしたが、参加者の皆さんの熱意で実施できたことを嬉しく思います。皆さんの「日中友好の架け橋」「地球環境保全」という崇高な目的があったからこそ実施できたと思います。今年の実施も昨年と同じ東京都での実施でした。今年の植林地は鏡泊湖を望む高台への植林ですので、非常に景色がよく植林と言う活動を象徴する記念の地としてはすばらしい地だったと思います。鏡泊湖の美しい景色とともに植林活動の意義と環境保護の願いが根付いて欲しいと感じました。

今年の植林ツアーは中国国内で反日活動が統発するなかの実施でしたが、参加者の皆さんの熱意で実施できたことを嬉しく思います。皆さんの「日中友好の架け橋」「地球環境保全」という崇高な目的があったからこそ実施できたと思います。今年の実施も昨年と同じ東京都での実施でした。今年の植林地は鏡泊湖を望む高台への植林ですので、非常に景色がよく植林と言う活動を象徴する記念の地としてはすばらしい地だったと思います。鏡泊湖の美しい景色とともに植林活動の意義と環境保護の願いが根付いて欲しいと感じました。

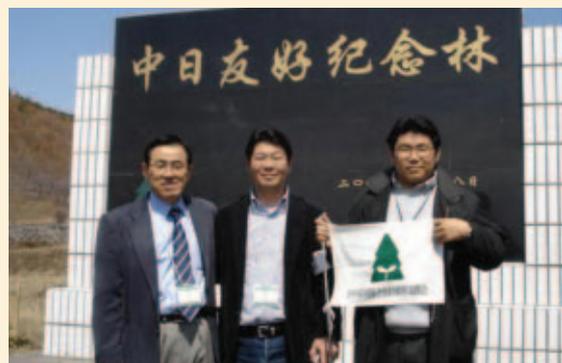
今年の植林ツアーは中国国内で反日活動が統発するなかの実施でしたが、参加者の皆さんの熱意で実施できたことを嬉しく思います。皆さんの「日中友好の架け橋」「地球環境保全」という崇高な目的があったからこそ実施できたと思います。今年の実施も昨年と同じ東京都での実施でした。今年の植林地は鏡泊湖を望む高台への植林ですので、非常に景色がよく植林と言う活動を象徴する記念の地としてはすばらしい地だったと思います。鏡泊湖の美しい景色とともに植林活動の意義と環境保護の願いが根付いて欲しいと感じました。



美しい景色の元へ根付け環境保護の願い
東急観光(株) 永田 一



「侵華日軍731部隊遺址」哈爾濱



現地でお世話になった方々

孟憲俊 東京城林業局副局長
王啓東 東京城林業局副局長、経済部部长
李慶国 東京城林業局副局長
張松林 東京城林業局宣伝部部长

孫炳洲 東京城林業局経済部副部长
張常江 東京城林業局局长アシスタント、主任
徐茂勝 東京城林業局造林部主任
趙榮偉 東京城林業局造林部副主任



会員及び寄付募集のご案内

設立趣旨書

昨今地球を取巻く環境は、先進諸国の産業の発達と、発展途上国による急激な経済活動の活発化とともに悪化の一途を辿っています。

酸性雨、野生動物の減少・生態系破壊、温暖化現象、オゾン層破壊、森林破壊、砂漠化、海洋汚染など様々な要素が絡み合って環境悪化を招いております。

特に最近では地球温暖化による様々な気象その他への悪影響を懸念する専門家の声が増しに拡大しており、京都議定書に象徴されるように、各国がその悪影響を認識しCO₂の削減目標数値を具体的な形で上げるなど、地球環境を守ろうとする国や人々の意思が増大しております。

我々地球に生き、生活している以上、未来永劫子々孫々のためにも住みやすい緑豊かな地球環境を守る義務があります。

CO₂の削減には、様々な産業活動での排出規制も大事ですが、植林などによる森林の増加は、一方で多様な地球環境保全効果が絶大であると言われていたことは周知の通りです。

日中環境保全友好植林実践会はこれまで、緑豊かな森林が地球に及ぼす好影響と、日本でも多く消費される割箸などの原料としての木材の正しい供給を踏まえ、森林破壊が懸念される中国での植林の実践を通じ、地球環境保全と緑化増進に寄与するため過去5年間に渡り中国黒龍江省饒河県にて計50万本のカラマツ等の苗木の植林事業を実施して参りました。

そして今後も、中国北部の緑化のための植林事業を推進すること等により、環境の保全に寄与することを目的として特定非営利活動法人日中環境保全友好植林実践会を設立します。

主な事業

- 中国の緑化推進のための植林事業
- 中国の緑化推進のための植林事業の広報誌などによる普及啓発事業
- 中国の緑化推進のための森林保全に関する調査、研究、情報収集事業
- 中国の緑化推進のための地球環境保全・改善事業
- その他目的を達成するために必要な事業

お申し込み方法

会の所定用紙（申込書）に必要な事項をご記入の上、FAXまたは当会ホームページのE-メールにてお申し込み下さい。会費は、右記口座あてお振込みくださいますようお願いいたします。なお、お振込み料金は、貴台にてご負担いただきたく存じます。

お申込書

個人正会員 団体及び法人正会員 寄付

お申込日 | 平成 年 月 日

フリガナ | _____ 業種

お名前 | _____

〒□□□-□□□□

ご自宅住所 | _____

電話番号 | _____ FAX番号 | _____

〒□□□-□□□□

勤務先住所 | _____

勤務先名 | _____

電話番号 | _____ FAX番号 | _____

E-mail: | _____

会費	
個人正会員	10,000円(1口/1口以上)
団体及び法人正会員	50,000円(1口/1口以上)
寄付	1,000円(1口/1口以上)

●FAXにて、下記番号あてにお申し込み下さい。

FAX番号 03-3836-5215

●お振込先

会費は下記口座あてお振込みくださいますようお願い致します。
なお、お振込み料金は、貴台にてご負担くださいますようお願い致します。

お振込み先	UFJ銀行 秋葉原支店
口座番号	普通預金 3951682
口座名義	日中環境保全友好植林実践会 事務局長 中田 武巳(ナカタ タケミ)

●ご連絡先

特定非営利活動法人 日中環境保全友好植林実践会事務局
TEL 03-3836-9408 URL <http://www.syokurin.com>
E-mail: info@syokurin.com

編集後記

今年も中国黒龍江省東京城に於いて、第7回目の植林活動を行いました。今回は昨年よりも10人多い39名が参加していただき、事務局といたしましても大変うれしく思います。

現地へ向かう途中、突然雪景色が現れ植林の実施が不安になりましたが、現地の鏡泊湖では雪も無く穏やかな好天に恵まれ、約200名の中学生や現地林業局の関係者に迎えられ、まず「楓」や「柳」・「七かまど」の苗木を計40本ほど記念植樹しました。その後地元中学生の皆様と和気あいの植林活動に入り、無事終了しました。

今年は、反日デモの最中でしたが現地の方々は大変友好的で、北京や上海でも平穏でデモ騒動は別世界の出来事のように感じました。

編集に際し、今回も多数の方から感想文を書いていただき、ほとんどの皆様が「よかった」との感想と受け止めました。来年からまた別の植林地になりますが、我々の活動が少しでも地球環境と、日中友好に寄与できることを祈念して、今年に増して多数の参加をお待ちしております。



(事務局長 中田武巳 記)